

## 2009年、2010年海外派遣基本方針

選手強化委員会

## 1. 2009年海外派遣の基本方針

2012年のロンドン五輪のメダル獲得を第1目標、2016年（東京）五輪でのメダル獲得を第2目標として、ワールドカップでのロンドン五輪QPの配分がない2009年度の選手強化事業は限られた強化予算を効率的に活用して、ロンドン五輪メダル獲得の第1歩の足がかりとなる2010年世界選手権（ミュンヘン）でのQP獲得を目指して、合宿、海外派遣を実施していく。

ライフルについては、ライフルのナショナルチーム要綱に基づき選考会を実施して指定したナショナルチームのAカテゴリー選手を中心にワールドカップ、東アジア大会を中心に派遣し、一部の大会に育成の観点からBカテゴリーの選手の中から若干名を指名して派遣する。アジアエアガン大会については、本年の予算執行状況を勘案しつつ、ジュニアも含めた若干名の選手を派遣する。

ピストルについては、2007年12月のアジア選手権以降の国内外の主要大会（A指定相当）における成績（ベスト3ランキング）の各種目上位の選手で、ロンドン五輪出場を目標とできる選手、およびナショナルコーチが指名する若手有望選手若干名を、ナショナルチーム員として、その中からワールドカップ、アジアエアガン大会派遣選手および派遣強化合宿参加選手を選考する。東アジア大会（10m競技のみ）については9月の予選会の成績で派遣選手を決定する。

## 2. 2009年NT選手の選定

## 1) ライフル

ライフル種目ナショナルチーム員の選定についてライフルは、すでに昨年11月の選考会結果に基づいて理事会承認を得て次の通り決定済みである。

## ・男子7名

氏名（所属）	カテゴリー	選考会での成績（3競技計）
谷島 緑（自衛隊体校）	A指定	3P1位、P1位
山下敏和（自衛隊体校）	A指定	AR1位、3P2位
松本崇志（自衛隊体校）	B指定	AR2位
篠原章宏（徳島県）	B指定	AR3位
小笠太志（自衛隊体校）	B指定	3P3位
牧 征樹（日本パーカッション）	B指定	ナショナルコーチ陣指名
富沢功嗣（自衛隊体校）	B指定	ナショナルコーチ陣指名

## ・女子5名

氏名（所属）	カテゴリー	選考会での成績（3競技計）
岩田聖子（日立情報）	A指定	3P1位
中村結花（中央大学）	A指定	AR1位、3P2位
今井尚子（岐阜県）	B指定	AR2位
佐々木亜子（日立メテコ）	B指定	3P3位
古野本真希（日立情報）	B指定	ナショナルコーチ陣指名

・ジュニアカテゴリー

今回は選考会成績では該当者なし。今後の各大会等での成績を勘案しジュニアカテゴリーの候補となる選手を JISS での AR 合宿等に指名参加させて、見極めたうえで理事会に申請していきたい。

2) ピストル

・男子7名

氏名 (所属)	カテゴリー	主要大会 (A指定相当) 成績等
松田知幸 (神奈川県警察)	A指定	F P 1位、A P 1位、(北京五輪入賞)
小林 晋 (岡山県警察)	A指定	F P 2位、(北京五輪代表)
堀水宏次郎 (香川県警察)	B指定	A P 2位
秋山輝吉 (宮城県警察)	B指定	R F P 1位
木田知宏 (大阪府警察)	B指定	R F P 2位
中重 勝 (広島県警察)	B指定	A P 3位
森 栄太 (自衛隊体校)	ナショナルコーチ陣指名育成対象	

・女子5名

氏名 (所属)	カテゴリー	主要大会 (A指定相当) 成績等
森ゆかり (自衛隊体校)	B指定	A P 1位、S P L 2位
稲田容子 (Y. I. S. S. C)	B指定	A P 2位
佐藤絹子 (警視庁)	ナショナルコーチ陣指名育成対象	
玉井多恵 (自衛隊体校)	ナショナルコーチ陣指名育成対象	
八木澤直美 (自衛隊体校)	ナショナルコーチ陣指名育成対象	

☆ナショナルチーム員の入れ替えは、必要に応じて随時実施する。

☆なお、上記の選手に加え下記の選手については、今後所属との調整をした上で、ナショナルチーム候補として J O C の強化指定選手に加える予定である。

原田茂史 (自衛隊体育学校)、土橋 晃 (自衛隊体育学校)、與子田由紀 (福岡県警察)、稲葉あゆみ (岡山県警察)、坂手理恵 (岡山県警察)、山梨里美 (静岡県警察)、富永実世 (自衛隊体育学校)

3. ワールドカップ大会の派遣予定選手

1) 考え方

A指定の選手を中心に最終エントリー直前までの各選手のコンディションも見ながら北京、ミュンヘン、ミラノ大会に若干名を派遣することとし、B指定以下の選手については育成、国際試合感覚の維持などの観点からナショナルコーチ指名により原則としてチャンオン大会を中心に派遣した。派遣実績は下表のとおり。

2) 2009ワールドカップ派遣等予定表

		WC チャンオン	WC 北京	WC ミュンヘン	WC ミラノ	備考
		4/8～16	4/16～24	5/14～21	5/21～29	
ライフル						
A	山下		○	○	○	
A	谷島		○	○	○	
B	松本	○				
B	篠原	○				
B	小笠					
B	牧	○				
B	富沢					
A	岩田		○	○	○	
A	中村		○	○	○	
B	今井	○				
B	佐々木	○				
B	古野本	○				
ピストル						
A	松田		○	○	○	
A	小林		○	○	○	
B	秋山	○				
B	中重	○				
B	木田	○				
J	掘水		○			
J	森					強化合宿対象
B	小西		○			
B	稲田	○				
J	佐藤		○			
J	藤岡					強化合宿対象
J	八木澤					強化合宿対象

4. 東アジア大会（香港 09年12月4～8日）の選手選考方法

- 1) 実施種目はARM、ARW、APM、APWの4種目で各国各種目2名まで。
- 2) 最終エントリー締め切りは9月15日
- 3) ライフルはナショナルチーム内で9月上旬までに選考記録会を実施してその成績により派遣選手を選考する。
- 4) ピストルについては、9月11日から広島で開催される25m、50mの全日本選手権大会の同時開催で10mの選考会（2競技、1ファイナルの予定）を実施しその成績により選考する。

5. 2010年ライフルナショナルチームの選考

ライフルについては08年9月に決定したNT要綱に基づき本年11月にNT選考会を実施し、選考する。

6. 2010年ピストルナショナルチームの選考

ピストルについては下記の指定大会での成績を元にナショナルチーム選手を選考する。

1) 選考成績対象大会

年月	大会略称	A P	25m種目	50m種目
09. 3	全日本選手権 10m	○		
09. 4	全国春季ピストル朝霞		○	○
09. 4	ワールドカップチャンピオン大会	○	○	○
09. 4	ワールドカップ北京大会	○	○	○
09. 5	ワールドカップミュンヘン大会	○	○	○
09. 5	ワールドカップミラノ大会	○	○	○
09. 6	東・西日本選手権	○		
09. 7	全国夏季ピストル朝霞		○	○
09. 9	全日本社会人	○		
09. 9	全日本選手権東アジア予選 (2競技)	○	○	○
09. 9	新潟国体	○		
09. 11	全国秋季ピストル朝霞		○	○
09. 12	東アジア大会	○		
09. 12	アジアエアガン	○		
10. 3	全日本選手権 10m	○		

2) 選考方法

- ① 上記大会における各選手の本選成績でのベスト3の平均点で、各第1位となった選手は、2010年NT選手として決定し、同時に2010年7月の世界選手権の出場も内定する。ただし出場種目についてはエントリー直前までの各選手のコンディションによりナショナルコーチ陣が指定する。
- ② 同じくベスト3の平均点で2位となった選手については、2010年のナショナルチームの合宿等の強化事業の対象としてナショナルチーム員に加える。
- ③ 上記大会における各選手の成績から、ナショナルコーチ陣により7月の世界選手権においてQP獲得の可能性があるかと判断される選手について、2010年のナショナルチーム員とする。
- ④ 上記大会における成績から、競技経験の短い将来性があるとナショナルコーチ陣が判断する選手は、合宿等の強化事業の対象としてナショナルチーム員に加える。

3) 2010年海外大会派遣の考え方 (ピストル)

☆最終的な派遣方針はQP配分、開催場所、日程が確定した後に決定したい。下記は現時点での基本方針案

- ① ワールドカップ大会については、原則として想定される高いQP獲得レベルに到達する可能性のある選手を厳選して若干名を派遣することとしたい。一部若手選手の育成目的派遣を加える可能性はある。
- ② 世界選手権についてはアジア選手権に次ぐQP獲得のチャンスであり、上記2) ①で1位で出場内定させた選手に加え、上記2) ③でナショナルチーム員に選考された選手を派遣する。
- ③ 世界選手権の出場種目については、必ずしも上記基準大会の成績結果にこだわらず、エントリー期限までの各選手のコンディションによりナショナルコーチ陣が決定する。
- ④ 2010年11月の広州アジア大会については、2010年7月までに選考大会を実施する方向で、2010年の大会日程を調整したい。

以上